

# GOOD LIVING HEADLINE

ビジネス  
ユーザーの皆様へ

8  
2020

商品のトレンドや新しい制度などお役に立つ情報を、日頃お引き立ていただいているビジネスユーザーの皆様へ発信します。

## テレワークを快適にする リフォーム提案のすすめ

コロナ禍で急速に普及したテレワーク。しかし実際に自宅で仕事してみると課題も多く、リフォームへの関心がにわかに高まっています。この機会に、テレワークを快適にするリフォームを提案してみませんか？

### テレワークについての不満と希望

自宅でテレワークをする場合、**ダイニングテーブル**や**ローテーブル**、つまり**リビングルーム**を使う人が多いようです。

その結果、  
こんな悩みが...

机や椅子が  
作業に適さず  
体が疲れる

資料などを  
置くスペースが  
ない

声や生活音が  
気になって  
集中できない

etc.



コロナ禍で今後もテレワーク継続が見込まれるため、自宅より快適に仕事をするための**間取り変更を望む人が増えています**。

今まで考えて  
なかったけれど...

子供を見つ  
仕事ができる  
空間がほしい

仕事用の  
資料をしまう  
専用の棚が  
ほしい

仕事専用の  
小さな独立  
空間がほしい

etc.



テレワーク環境を快適にするリフォームプランが増えています！

例えばこんなリフォーム  
プランに関心が集まって  
いるようです。



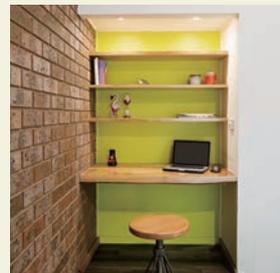
#### 玄関横や廊下などの スペースを有効活用

空きスペースに合わせて  
デスクを設置。資料の収  
納場所も確保すれば、業  
務効率もアップします。



#### リビングの一部を間仕切り

リビングの一角を仕切ってワークスペースに。  
透明の引き戸にすれば、子供の様子も見え、  
仕事をしないときは開け放ってスペースを  
広々使えます。



#### 寝室の一角を書斎に

昼間は使わない寝室の一角を  
ワークスペースに。デスクサイ  
ズに合わせて周囲を囲うと  
より集中できる空間になります。

裏面に続きます▶

ウイルス・細菌対策に対応したリフォームへの関心も高まっています！

コロナによって  
生活が一変した今、  
衛生意識が高まり、  
このような  
リフォームに注目が  
集まっています。



抗菌・抗ウイルス仕様



玄関横に手洗い場を設置



抗菌加工の壁、床



抗菌仕様の取っ手

タッチレス化

タッチレス  
水栓



オート開閉  
便座

99.9% 除菌  
薬品不使用  
水と塩で  
何度でも

「除菌水をいつでも簡単に」次亜塩素酸水生成器 スプレジア

# Supre Zia

Supre Zia(スプレジア)は、除菌・消臭効果の高い次亜塩素酸水(電解次亜水)<sup>※1</sup>をご家庭で簡単につくることができます。次亜塩素酸水は人体にやさしいので、キッチンやバスルーム、衣類やお子様のおもちゃなどの除菌・消臭に安心してご使用ください<sup>※2</sup>。

気になるところをいつでも除菌・消臭



わずか10分! 作り方はカンタン<sup>※3</sup>



ボトル内の生成水の除菌・消臭効果は、生成してから約8時間有効です。生成水は直射日光を避け、涼しい場所で保管してください。直射日光に当てたり高温の場所で保管すると、除菌・消臭効果が短時間でなくなります。

<sup>※1</sup> pH8前後の次亜塩素酸および次亜塩素酸ナトリウムを含む有効塩素濃度約100ppmの水溶液を生成します。<sup>※2</sup> スプレジアで生成した次亜塩素酸水は手指の消毒、加湿器への注水、うがい水としての使用はできません。<sup>※3</sup> 生成時間は約10分です。<sup>※4</sup> 電源パッドをACアダプター(別売)に接続してコンセントに差込んでください。<sup>※5</sup> スプレジア専用タブレットを1錠と水道水を使用した場合の概算費用(税込)です。



「コストの良さ」でも  
安心! 身のまわりを  
除菌しましょう!

水と専用タブレットだけで  
除菌水がつかれるから

ランニングコストは  
1回あたり約 **50円**<sup>※5</sup>

輸入元: ジーエヌテック株式会社

## 編集後記

「感染リスクを下げられて安心」「通勤しなくてよからラク」など、多くの賛成意見が聞かれるテレワークですが、「仕事場としての自宅」には改善すべき課題が山積み。まさに今がリフォームを提案するチャンスとも言えます。自宅で仕事をするお客様が何を不満に思い、どのようなリフォームを望んでいるのか。自らもテレワークを体験することで、お客様のリアルなニーズを掴み、効果的な提案ができるのではないのでしょうか。